

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Spoken English II		
英文授業科目名	Academic Spoken English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	http://www.oku.hc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>【主題】（前期の発展）</p> <p>1) ニュースや講演の英語を聴き、その大意を把握する。 2) 意見を平易な表現を用いて英語で書き、パワーポイントを使って発表する。</p> <p>【達成目標】</p> <p>1) 英検準1級レベルのニュースの英語を聞き、その大意を把握できる。 2) 述べたいと思うことを、英検2級レベルの構文や語彙を用いて表現できる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>マーク・ピーターセン 『心にとどく英語』（岩波新書） 松本茂 『速読速聴英単語Core』（増進会出版社）</p>

【授業内容とその進め方】

【前期に引き続き】

- ・ 4～5名のグループを作る。
- ・ グループ毎にテーマ(トピック)を選び、必要なデータを収集した上で調べた内容を要約し、さらに内容への評価を行う。
- ・ 『心にとどく英語』・『速読速聴英単語』から、コミュニケーションに役立つ表現を学ぶ。
- ・ 他に、会話に役立つ表現を紹介し、それを使った会話の練習を行う。
- ・ (教室外) ALC NetAcademy や「リズム学習」：言語自習室での学習。
この学習は非常に重要です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【成績評価方法】

- ・ 予習：2割
- ・ 授業での発表：3割
- ・ レポート：2割
- ・ 試験：3割

【評価基準】

- ・ 上記達成目標に照らし合わせて行う。
- ・ 最低達成基準：次のレベルに達している。
 - 1) 5分間のスピーチにおいて、英検準2級レベルの構文や語彙を使って考えを表現できる。
 - 2) 英検2級レベルのニュース英語を聞き、大意を把握できる。

【オフィスアワー：授業相談】

月・火5限：言語自習室(F101)で、主に英語学習の相談を受けます。

【学生へのメッセージ】

- 1) 前期から継続しての受講を強く望みます。
- 2) キャッチフレーズ
 - ・ 使わなければものにならない。
 - ・ If not now, when? If not here, where?
(今しなくて、いつ? ここでしなくて、どこで?)
- 3) 学びの結果として、TOEIC試験(990点満点)で次の達成を。
【1年前期末】500点 【1年後期末】550点
【2年前期末】600点 【2年後期末】650点
【3年前期末】700点 【3年後期末】750点

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】
なし